

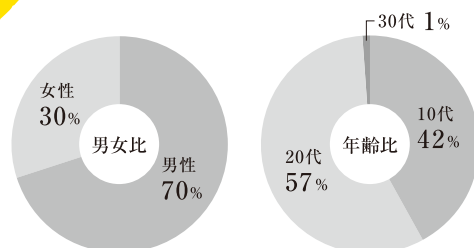
全日制でしっかり学ぶ

柔道整復科 I 部

昼間部

在校生data

※2022年4月1日時点(1～3年次)



9:30～16:40(月-土 週6日制)

■修業年限:3年 ■定員:60名

職業実践専門課程認定

全日制ならではの 充実した授業構成

全日制コースならではの充実した授業構成により、
柔道整復に必要な知識と技能を着実に修得。基礎分野から
専門分野に及ぶ医学知識はもちろん、一般教養も養えます。

昼間部の 特徴

将来に役立つ 特別講座

目指す分野や目的に合わせて選べる、多彩な特別講座を設置。
より専門的なスキルや、
幅広いフィールドで役立つ技術を学べます。

特別講座の例

ドラウタビリティ スポーツトレーナー講座
サービス介助論 超音波医用画像講座
手話講座 開業支援講座 など

伝統・最新医療を 統合的に学ぶ

柔道整復学の理念と伝統的な治療技術、その技術を裏付ける最新の臨床医学に
基づく診察・診断・鑑別の力を、理論と実技の両面から学べます。

授業の流れ

年次ごとに、基礎、応用、実践へと段階的に積み上げる学習システムです。

1 年 次

学習ポイント
基本に徹した学びで基礎を固め、
医療人としての自覚を確立。

柔道整復の基礎知識と基本技能の学習
を通じて、基礎力をつくると同時に医療人
としての自覚を持たせます。

学習ポイント

カリキュラム

【基礎分野】
総合基礎Ⅰ(生物・生命科学/コミュニケーション演習/医療英語演習/コミュニケーション心理学)
【専門基礎分野】
人体構造学Ⅰ、人体機能学Ⅰ、健康の意義、
柔道Ⅰ
【専門分野】
運動器学、骨損傷学基礎、関節損傷学基礎、基本的治療法、総合柔道整復演習、臨地実習Ⅰ☆
《39単位 981時間》

特別講座
自由選択
スキルアップ講座Ⅰ(トレーニング講座(スタビライゼーション、ドラウタビリティ)/コミュニケーション講座(サービス介助論、手話講座)) 他

2 年 次

臨床医学に基づき、
応用力や探究力を向上。

臨床医学に基づいて各論を学びながら、
柔道整復師としての応用力や、治療家としての探究力を高めていきます。

【基礎分野】
総合基礎Ⅱ(医用英語Ⅰ・Ⅱ/化学)
【専門基礎分野】
人体構造学Ⅱ、人体機能学Ⅱ、疾病の成り立ち、運動器診断治療学、内科診断治療学、外科診断治療学、人体機能回復論
【専門分野】
上肢の損傷学Ⅰ、下肢の損傷学Ⅰ、体幹の損傷学、
総合柔道整復演習、臨床実習Ⅰ☆、臨地実習Ⅱ☆
《42単位 1,028時間》

スキルアップ講座Ⅱ(スポーツトレーナー講座/手技療法講座/柔道教室)

3 年 次

臨床実習で臨床力を養い、
実技審査と国家試験に対応。

臨床実習を通じて実践的な技能と患者さまへの対応力を磨くとともに、実技認定審査と国家試験に向けた強化学習を行います。

【専門基礎分野】
人体構造機能学、柔道整復の適応、関係法規、**柔道Ⅲ**、社会保障制度
【専門分野】
柔道整復と基礎医学(人体構造学/人体機能学)、上肢の損傷学Ⅱ、下肢の損傷学Ⅱ、柔道整復と臨床医学(病理学/整形外科科学/内科学/外科学/リハビリテーション)、**臨床的治療法**、総合柔道整復演習、**臨床実習Ⅱ☆**
《34単位 869時間》

スキルアップ講座Ⅲ(超音波医用画像講座/開業支援講座/アスレティックトレーナー講座)

…業界と直結し、企業等と連携した実践授業(2022年度) ☆臨床実習、臨地実習の一部は、1・2年次は春季・夏季の時間外、3年次は夏季の時間外にも実施。
※総合基礎の科目が免除される基礎科目履修免除制度あり。

在校生 インタビュー

すべての学びが将来に役立つもの。夢に向かって日々、学びを深めています。

目標は、急性外傷にも対応できる治療家になることです。授業はとてもこまやかで、難しいポイントは補習で理解を深めることができます。その手厚い指導や充実した学習環境の中で、自分から学ぶ習慣ができました。すべてが現場で必要な知識や技術なので、コツコツと学び続けたいと思います。

柔道整復科 I 部 水村 咲貴さん



1週間の時間割例

講義、実技、特別講座をバランスよく配したカリキュラムを展開します。
※時間割は一例であり、実際とは異なる場合があります。

1 年 次

呉竹独自の授業

【後療法演習】

身体各部分の損傷を想定し、ロールプレイ方式で実際の後療法を実施。手技のほか、測定・検査法も実技の中で学びます。

【救急蘇生法演習】

BLS(一次救命処置)の基本知識と技術を修得するとともに、その応急手当に必要な知識と技術を身につけます。



特別講座 【ドラウタビリティ】



体幹トレーニングが中心のスタビライゼーションに対して、瞬発力を高めるトレーニングとその指導方法を学びます。

【柔道Ⅰ】



柔道整復師の技術のより所である手技の理解、人格形成、心身の鍛錬を目的に、柔道の基本的動作を体得します。

特別講座【手話講座】



聴覚障がいを持つ患者さまとのコミュニケーション方法として手話を学び、聴覚障がい者に対する理解を深めます。

	月	火	水	木	金	土
[1] 9:30～11:00	総合柔道整復演習 (運動器学演習)	人体構造学Ⅰ	人体機能学Ⅰ	健康の意義	骨損傷学基礎	総合基礎Ⅰ (生物)
[2] 11:10～12:40	総合柔道整復演習 (医療面接演習)	総合柔道整復演習 (柔道整復業務概論)	運動器学	基本的治療法	関節損傷学基礎	総合基礎Ⅰ (コミュニケーション心理学)
[3] 13:30～15:00	㊦ サービス介助論	総合柔道整復演習 (後療法演習・ 救急蘇生法演習)	—	柔道Ⅰ	—	—
[4] 15:10～16:40	—	㊦ ドラウタビリティ	—	㊦ 手話講座	—	—

㊦は特別講座 ※時間割は次年度計画上の予定です。